



〒915-0823
福井県越前市本町 10-2
親縁山普照院

大寶寺

TEL/FAX (0778) 22-1682

http://www.daihoji.com

e-mail: info31@daihoji.com



秋季彼岸法要

暑さ寒さも彼岸までといいますが、沸騰するような今年の暑さも幾分和らいできたでしょうか。昨年の今頃は蔓珠沙華が芽を出していたのですが、今年には遅くなりそうです。

さて、左記のとおり大寶寺、法林寺、浄土寺の秋の彼岸法要を勤めますのでお参り下さい。

秋彼岸法要

大寶寺 9月23日 午前10時より

法林寺 9月23日 午後三時より

浄土寺 9月24日 午後六時半より

お墓参りの際は、本堂の阿彌陀様に、お参りしましょう。

トピックス

お寺の清掃奉仕

7 / 29



お盆の行事をひかえた7月29日、午前9時から10時半にかけて、15名の檀信徒の方々と寺の家族で、床の雑巾がけや、ガラス拭きをしました。

年度の後半にもう一度お寺の清掃をする予定です。ご都合がございましたら、ぜひご協力下さい。

総墓参り 8 / 10

連日の猛暑の中でしたが、本堂の南側から風が吹いて、意外と過ごしやすく、なんとか総墓参りを勤めることができました。午後は主に県外の方から依頼を受けたご回向を勤めましたので、参詣者はまばらでしたが、午前中は、コロナ禍が一段落したこともあり参詣者で賑わいました。

また、おやつクラブにも沢山たくざんのお菓子をお送りいただきありがとうございます。

訃報 正覚寺ご山主ご遷化

9月2日、越前市京町にある正覚寺のご山主江藤英賢上人が、享年81歳でご遷化ごせんげなされました。6日に密葬にて葬儀が営まれ、大寶寺の住職が導師を務めました。英賢上人は京都にある浄土宗大本山の一つである清浄華院の執事長を勤めるなど大変に活躍なされました。10月21日には正覚寺にて、清浄華院のご山主ごさんしゅをお迎えして本葬が執り行われます。

濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

お念仏の味わい

「お念仏には味わいがあります」と、知恩院の信行奉仕団の解団式の際、法善寺住職、神田眞晃しんこう上人は述べられました。それを聞いて「確かにお念仏には味わいがあり、お念仏を称える心に変化が生じる。」との想いが心にわきました。

お念仏を称えるとき、ことばにはなりにくいのですが温もり、あるいは安らぎやすみのようなものを心に感じます。

法然上人はお念仏にまさる功德はないとお説きですが、これこそお念仏の功德ではないでしょうか。

また、このような功德を奉仕団の参加者だけでなく、指導員、さらには知恩院に勤務する僧侶や職員の方々も共有しているように思われます。

この感覚はお念仏を称えるときだけでなく、清掃、礼拝、布教、参拝、食事などのときも同じで、知恩院の中では、だれもが心の温もりや安らぎの中に浸っているように感じます。すなわち、総本山知恩院はそれ自体が、お念仏の功德に満ちあふれた聖地であるといっても過言ではありません。

来年の4月12日には総本山知恩院において開宗85年の慶讃法要の団体参拝が企画されています。ぜひ、ご参拝いただいで、お念仏の功德をご一緒に味わいたいものです。

かいびやく

五重相伝開闢 令和7年10月

五重相伝とは、5つの法を学ぶことによって、念仏の教えの肝要を学ぶという浄土宗独特の法会です。当山では令和7年10月9日から13日にかけて実施します。

徳川家康公は「厭離穢土、欣求浄土おんりえど ごんくじょうど けがれた現世を厭い、浄土に往生することを心から願う」を旗印に天下を統一されましたが「生涯に二度五重相伝をうけられ、陣中おんにおいてもお念仏申すことを絶やさぬ敬虔な念仏者」であったそうです。

五重相伝の受者には生前に戒名が授与されます。



彼岸会ライブ

大寶寺本堂の秋彼岸会の様子を、YouTubeで配信します。

スマホ、パソコン、タブレットでYouTubeを起動し、検索ウィンドウに daihoji_live と入力してください。



北陸地区檀信徒研修会

先にご案内致しました北陸地区檀信徒会研修会は令和6年4月12日の総本山知恩院御影堂において挙行される浄土宗開宗850年慶讃法要の参拝を中心に、嵯峨の清涼寺、また、比叡山において法然上人の足跡をたどります。

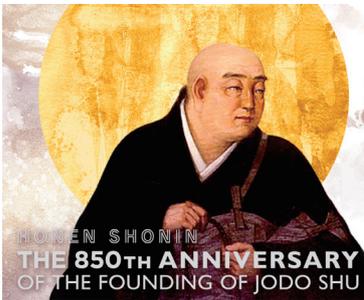
申込は11月末までとなっていますが、受け入れ人数に限界がございますので、早めにお申し込みください。先に配布したチラシの申込用紙、あるいは、大寶寺連絡ハガキ、電話などでも受け付けております。

参加申込を頂いた方々に対しては後日、参加要項をお送りします。

なお、来年度のおてつき奉仕団は秋に実施する予定です。

お待ち受け法要・法灯リレー

親縁山大寶寺では令和6年3月3日（日）の御忌会にあわせ開宗850年のお待ち受け法要を実施する予定です。また、それに合わせて法灯リレーを実施します。



浄土宗開宗850年 慶讃法要参拝

北陸地区檀信徒会研修会

HONEN SHONIN THE 850TH ANNIVERSARY OF THE FOUNDING OF JODO SHU

浄土宗開宗850年を記念して 総本山知恩院で開催される慶讃法要に参拝します



御影堂慶讃法要 4月12日

中導師 福井 吉田悦應上人 石川 吉田隆一上人 富山 長谷川善政上人 新潟 籠島浩恵上人

日時：令和6年4月12日（金）～13日（土） 参加費：15,000円（檀信徒会からの助成による） 宿泊先：湯の花温泉 溪山閣0771(22)0250 日程詳細は裏面



申込先：各寺院 申込締切：令和5年11月末日 問合せ：慈徳院 TEL/FAX 0778(27)1776 主催：浄土宗北陸地区檀信徒会



※ 大寶寺を通して申し込んでいただくこともできます。

- 一、お申込み先
一、伝法袈裟冥加
一、お申込み方法

総本山知恩院布教部教務係宛

〒075-8686 京都市東山区林下町四〇〇

※お申込みいただいた方の個人情報、当山で伝法袈裟喜捨結縁に関する業務にのみ使用し、他に流用することはありません。



『伝法袈裟』

喜捨ご結縁のお願い

浄土宗におきまして、僧侶となるためには、まず所定の学業を修了し、厳しい修行の上、浄土宗の宗脈・戒脈を相承しなければなりません。このことを伝法と称し、またその行を伝宗伝戒道場(加行道場)といい、修行僧を加行僧と申します。そこで当山では、加行僧が着ける袈裟を有縁の皆様のご喜捨によって仕立て、これを「伝法袈裟」と称しております。

この袈裟には、ご喜捨の施主名と有縁のご法名を明記し、授与された僧侶が終生被着してその追善回向をさせていただきます。ご喜捨の施主様にとっては何よりの先亡諸霊位に対するご供養になると存じます。

どうか右ご理解いただき、本年もぜひご喜捨ご結縁賜りますようお願い申し上げます。

令和五年 八月 佛歎喜日

総本山知恩院執事長 貴田 善澄

合掌

記

一霊位につき金一〇、〇〇〇円也 別添申込書に冥加料を添えていただき、十月末日までに、現金書留にてお申込みください。

なお、「伝法袈裟」仕立ての都合により、十月末日をすぎると来年度分として取り扱わせていただくこととなりますので、ご容赦いただきますようお願いいたします。